

ファイナルレポート

国際コンポーネント・アセンブリ・エレクトロニクス製造専門見本市
 香港コンベンション&エキシビションセンター
 2017年10月13日～16日

2017年11月30日

electronicAsia 2017
 海外含む約2万6千人の来場者と業界の関わりを促進

Summary

- 13の国と地域から570社が出展、118の国と地域から25,785人が来場
- 調査ではASEANと中国の製造業はかなり楽観的



Facts & Data

会 期	2017年10月13日(月)～16日(木) 午前9時30分～午後6時30分(最終日のみ午後5時まで)
会 場	香港コンベンション&エキシビションセンター
主 催	MMI Asia Pte Ltd Hong Kong Trade Development Council(香港貿易發展局)
規 模	6,309 m ²
出 展 企 業	13カ国・地域から570社
来 場 者 総 数	118カ国・地域から25,785人
主 な 出 展 品	半導体全般、パワー半導体部品、エンベデッドシステム、センサー、MEMS、プリント基板・その他回路基材、受託製造サービス(EMS)、相互接続技術、ケーブル、スイッチ&キーボード、受動部品、モーター・駆動部、アセンブリ・サブシステム、マイクロ波技術、電力供給、物流管理・装置製造(半導体・コンポーネント、マイクロシステム技術、プリント基板・その他回路基材、アセンブリ・モジュール・ハイブリッド、電子設計(ED/EDA)検査・計測、総合生産補助・生産サブシステム、生産関連サービス、サービス・出版、ブロードコムチップ、カメラモジュール、チップセット、コネクタ、フラッシュメモリー、センサー、タッチパネル、三次元視覚化テクノロジー、クリーンルームテクノロジー、ディスプレイ組立、ディスプレイ生産財、ディスプレイ製造(フラットパネルディスプレイ/FPD)、太陽電池・モジュール、太陽電池機械・部品製造、僻地太陽光発電システム、集光型太陽発電・集光型太陽熱発電、PVシステム技術・インバーター、トラッキング・マウンティングシステム等
出展日系企業	伊藤忠商事(株)、(株)エイ・エス・エイ・ピー、さいたま市、(株)東京ウエルズ、(株)ベルニクス、(株)ローヤル産業他
専 用 U R L	www.electronicasia.com (英語)

サイクロンの影響で開催期間が3日間に短縮したにも関わらず、香港貿易発展局(HKTDC)とメッセ・ミュンヘン・アジア(MMI Asia Pte Ltd)が共同開催した第21回 electronicAsia は、約26,000人のバイヤーを引き付け2017年10月16日成功裏に終了した。併催の香港エレクトロニクス・フェア(秋)の出展社も電子パーツや部品を eAsia で調達した。

見本市開催中、香港貿易発展局(HKTDC)は独自調査を依頼し、エレクトロニクス市場の見通しと新製品の動向について合計1,025人の出展社とバイヤーにインタビューを試みた。回答者の半数以上(54%)が、2018年の企業全体の売上高が増加すると予想している。主要市場ではASEAN(92%)が最も楽観的であり、中国本土(91%)、ラテンアメリカ(85%)、台湾(85%)と続いた。

electronicAsia 2017 は、パワー・サプライ、蓄電池用バッテリーカバー、電源アクセサリ、検査及び制御システムのゾーンを新設した。今回の見本市で中国の Hunan Corun New Energy 社、電池材料部のマーケティング統括部長 Jenny He 氏が次のように述べた。「当社は、家庭用および産業用途の長寿命型バッテリーだけでなく、電気自動車用のパワーバッテリーパックもプロモーションしている。インド、インドネシア、日本、韓国、ロシア、シンガポール、ウクライナからのバイヤーが当社製品に関心を示しており、20人以上の新規顧客とビジネスを締結させることを期待している」

見本市では、プリント回路基板、EMS、ディスプレイ技術、センサー技術、キーボードおよびスイッチ、部品等といった分野についてもカバーした。アジア3か国からのそうそうたる業界団体がパビリオンを主催した。香港金属製造業協会が主催したパビリオンをはじめ、さいたま市の企業が集まった日本パビリオン、そして台湾電機電子工業組合(TEEMA)が主催した台湾パビリオンには38社が出展した。

「electronicAsia は、世界中に当社の存在を示し拡大するのに役立つ。そのため多くの台湾企業が毎年の出展を熱望している。今年は米国やヨーロッパからの海外バイヤーが多く見受けられ、新しい事業開発の機会を得ることができた。バイヤーは当社製品のスイッチ、抵抗器、コンデンサーやインダクタに強い関心を示していた」とTEEMA社プロジェクトマネージャーの Louis Yang 氏は述べた。

electronicAsia の国際性を強調し、香港 Mobicon Holdings Ltd 社の会長 Dr. Measure Hung は「バイヤーからのフィードバックは今年もまたプラスになっている。オーストラリア、フランス、ドイツ、インド、ロシア、米国の多くの新規顧客から当社の Clover Display 製品に関する問い合わせを受けた。ブラジル、イラン、アラブ首長国連邦のバイヤーからは、デジタルオシロスコープやスペクトラムアナライザなど Rigol ブランドのプロ用ツールに深い関心を寄せている人もいた」

Sungmun Electronics 社は、LED モジュールとスイッチを世界中に輸出している韓国の大手メーカーである。「最新のLEDモジュール、回転式DPIスイッチ、ミニスライドスイッチを宣伝するために、今年もここに出展出来て嬉しく思う。反響は好意的であり、見本市開催直後に中国、ドイツ、イスラエル、オランダ、ロシア、米国から20人の新規バイヤーと会った。この見本市は、より多くの国際的な顧客にアプローチし、製品を宣伝するための確かなプラットフォームを提供している。また、他の海外出展社とアイデアを交換するチャンスもある」とSungmun Electronics社の海外営業部係長の Jewel Kim氏が述べた。

多くのバイヤーにとって、electronicAsia はソーシングの新たな局面を提供する。ポーランドの Semicon Sp. z o.o.社プロダクトマネージャーの Mariusz Sochacki氏は主にドイツ、スイス、英国から様々なブランドの電子部品を調達し、東ヨーロッパで販売している。「electronicAsia は、我々に良い部品調達の代替手段を提供している。コネクタ、電源インレット、センサーなど多様なアイテムを取り扱う中国、香港、台湾から少なくとも20人のサプライヤー候補を割りだした。より多くの機会を探るためにまた来場したい」と話した。

ドイツの BKL-ELECTRONIC Kreimendahl GmbH 社はドイツおよびその他ヨーロッパ諸国の卸売販売業者や製造業者に約5,000種類の製品を販売している。同社のオーナーそしてCEOである Alf Kreimendahl氏は「当社は良質の製品を供給するために長年にわたって electronicAsia に訪れてきた。今年は中国からコネクタ、プラグ、ソケットを含む様々なアイテムの6つの新しいサプライヤーを見つけた。ここは、電子部品やパーツを調達するのに最適な場所である。新規のサプライヤーを見つけ出し、当社の

製品を豊かにするために毎年来場する」と述べた。

日本のアイシーズ一(株)代表の松宮健一氏は「当社は日本、ヨーロッパ、米国の顧客に様々な電子部品やパーツを販売している。今回で3度目の来場となり、これまでにビジネスマッチングミーティングを通じて2つの新しい半導体サプライヤーを見つけた。交渉後に最初の注文を行う予定だ。多くの興味深い製品を紹介している非常に良い見本市である」と述べた。

重要なエレクトロニクス市場として、electronicAsia は業界に非常に大きな機会を与えている。エレクトロニクス・フェア(秋)との共同ネットワーキングレセプションのようなネットワーキングイベントそして製品デモとローンチパッド、バイヤーズフォーラムなど来場者が様々な市場を深く探るためのアクティビティが見本市にさらなる価値を加えている。

有益なイベントは、産業発展の普及のための重要なプラットフォームである。「Latest Development on Sensor Technology」セミナーではドイツのダルムシュタット大学応用科学科 応用科学システムセンター長の Dr. Ing. Markus Haid 教授が演説した。「センサー技術は、デジタル化時代に重要な役割を果たす。デジタル化プロセスの3つの重要な柱であるスマートプロダクト、スマートファクトリー、スマートビジネスモデルとセンサーを統合することができる。スマートプロダクトを現実化するにはセンサーが必要である。スマートファクトリーにもセンサーが必要である。新しいスマートビジネスモデルで顧客ニーズを満たすには、もちろんセンサーが必要である」

香港職業訓練協議会と香港電子工業協会が共同開催した香港エレクトロニックフォーラムに6名のトップ・エキスパートがフレキシブルテクノロジーに関する議論を行った。その一つが中国科学院プリンタブル・エレクトロニクス・リサーチセンター所長の Zheng Cui 教授の講演だ。フレキシブルエレクトロニクスは電子デバイスの製造と使用方法を変えてきたと述べ「将来的には、市場での競争力を維持するために、付加価値の高い製品に低コストで新しい機能を提供するためフレキシブルエレクトロニクスを採用することが前提です。フレキシブルエレクトロニクス技術は革新を引き起こす」と続けた。

次回の electronicAsia は、2018年10月13日から16日、香港コンベンション&エキシビションセンターにて開催予定だ。

詳細情報は、専用ホームページまで:

www.electronicasia.com (英語)

資料請求、各種お問合せ先:メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目20-3 ノアーズアーク虎ノ門5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語/ドイツ語)